

このまちの100年

「難波」

難波一帯は、江戸時代以来の繁華街・商業地。道頓堀五座にはじまり、劇場、演芸場、映画館、遊園地など時代ごとに娯楽施設が誕生、商店街や百貨店、飲食店も充実するなど、にぎわいの地として発展を続けています。



大正期

劇場、水族館やローラースケート場などを備えた、千日前楽天地



昭和前期

大正12年、道頓堀に関西初の洋式劇場である松竹座が開場した



昭和前期

昭和7年、千日前楽天地の跡地に誕生した大阪歌舞伎座



昭和前期

初代の通天閣は戦時の金属献納運動で解体され、昭和31年に二代目が誕生した



昭和前期

昭和7年、難波駅四代目駅舎の南海ビルが誕生した



昭和29年頃

道頓堀の風景。太左衛門橋から戎橋を望む

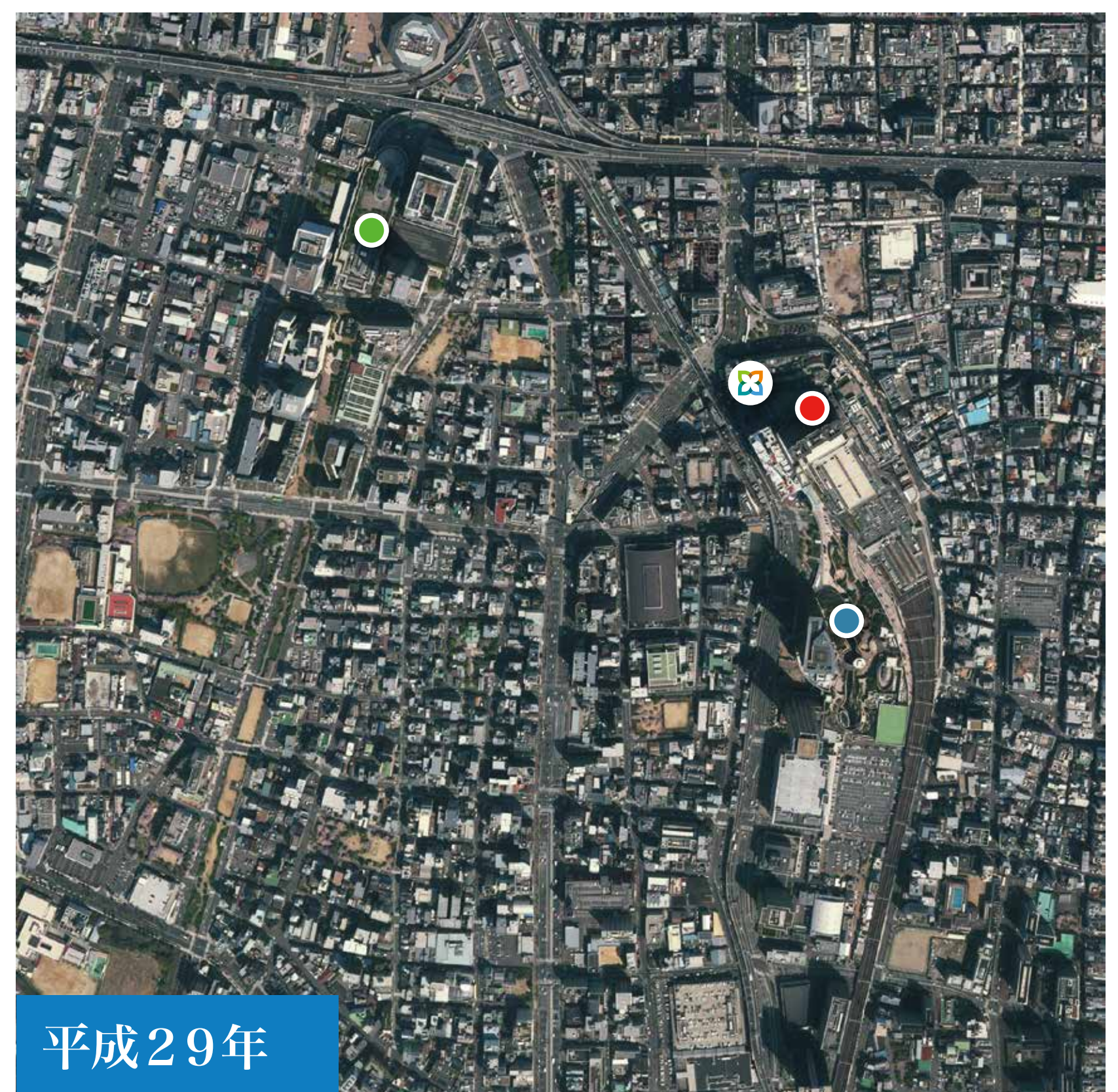
上空からみた難波エリア



昭和23年



昭和50年



平成29年

● : 現在地
● : 大阪地方専売局 大阪工場／大阪スタジアム（大阪球場）／なんばパークス ● : 湊町駅／JR 難波駅・OCAT ● : 難波駅（南海なんば駅）

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ